

大変人気があり、今後も拡充・継続していきたいと考えている。このスクールの基本プログラムは東京の本社で作成したものであるが、担当者が内容を徐々に変更しているため、地域によって特色が出ている。2010年度は、全国では450校、東日本では110校、栃木県内では57校で実施し、これまでの累計参加者数は約16万名に達している。この授業を受けた子どもたちからは「これからはパッケージの裏面も見てお菓子を選ぼうと思います」、先生からは「身近なおやつのなかに、学習につながる

たくさんの要素があることが分かりました」など多くの声が寄せられている。



カルビースナックスクールの様子

社会貢献委員会の設置

カルビーは全グループ、全従業員による地域社会への貢献を実現していくために、2009年10月に「社会貢献委員会」（12名、任期2年間）を新たに発足させた。この委員会は社長直轄の組織であり、広報部が取りまとめを行っている。社会貢献委員は社内公募によりさまざまな部門の従業員で構成されている。

2009年度、委員会では社会貢献活動における約束と責任を明示した「ミッション・ステートメント」（カルビーグループ従業員の使命声明）を策定するとともに具体的な取組に関するアイデアを社内公募した。また、社外から講師を招いての勉強会、社会福祉団体や先進的な取組をしている企業

への訪問なども実施した。これらをもとに、母・子ども・家族・家庭・食・自然・環境をテーマの中心に据え、「地域に密着した汗をかく活動をする」などの2010年度活動方針を決定し、地域社会、さらには全世界に貢献するべく活動を進めている。



社会貢献委員会の様子